

令和6年5月28日
古河市立総和中学校

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

日時 令和6年5月28日(火) 13:00~15:00

場所 総和中学校会議室

参加者 ①渡辺委員 ②綾部委員 ③須長委員 ④岩田委員 ⑤竹村委員 ⑥古池委員
⑦白井委員 ⑧青木校長 ⑨木塚教頭 ⑩大塚教頭
⑪上村教務主任(オブザーバー参加)
計11名

配付資料 第1回要項(含、説明資料)、学校要覧

内容

1 学校長あいさつ 13:05

2 委員自己紹介

どの委員さんも総和中への思い入れがあり、協力への前向きな発言がありました。

3 会長及び副会長の選出

会長 渡辺 勉 委員

副会長 綾部 恵美 委員 **承認**

4 会長あいさつ「前文部科学大臣時に古河市としては学校運営協議会に力を入れていきたいといった話があった。学校は、地域のものであり地域で子どもたちを育てていきたい。」

5 議事

(1) 学校運営協議会について 校長より「地域協働学校活動と連携しながら進めていきたい。未来を担う子供たちの豊かな成長のために、社会全体で育てていく時代になった」

(2) 令和6年度総和中学校の学校経営について 校長より グランドデザインをもとに説明 **承認**

綾部副会長より 重点的な取組に「生徒一人一人の自主性・自立性を高める」とあるが、教師側だけでなく、こういうことをやってみたいといった生徒の意見を取り入れて活動していくことで活性化するのではないかと意見をいただいた。

~授業参観~ 13:40~14:00~

学習用端末を使って学習している様子や廊下の掲示物にも興味を示している様子があった。

(3) 本校の教育活動について

①組織編成に関する事 大塚教頭より学校要覧をもとに説明

②教育課程の編成について 教務主任上村より教育課程編成書、時間割、年間計画をもとに説明

③施設管理及び施設設備等に関すること 大塚教頭より教室配置図と学校配当予算をもとに説明

④学校、保護者、地域との連携による教育に関すること 木塚教頭よりホームページ、学校評価、リーバー（出欠アプリ）、メールをもとに説明 ホームページは毎日発信を目標にしていること、学校評価においては自己有用感が低いため向上のために多面的・多角的に取り組んでいること、リーバーやメールで保護者と情報を共有していることを伝えた

⑤生徒に関すること

- ・総和中のきまり 大塚教頭より総和中学校生活のきまりをもとに説明。中学生らしい髪型など校則の共有実践の難しさを伝える。
- ・学校いじめ基本方針について説明（大塚）
- ・部活動の運営方針について説明（大塚）
- ・食物アレルギー対応について説明（大塚）

⑥地域へお願いしたいこと

- ・昨年度、学校付近の信号機が歩車分離式を希望した。今年度は歩車分離式にはならなかったが生徒が通過する時間の信号機の時間を変更してくださった。今後も信号機のボタンを押すと歩車分離式になる方向が理想である。（木塚）
- ・以前は総和中も地域へ立哨指導をお願いしていた時期があった。たすきを保護者に渡しておき、1週間の中で1回時間と場所を自分で決めていただき立哨するという形。たすきを次へつなげることが難しかった。今後は地域の方々の協力を得ながら見守り及び立哨をお願いしていきたい。（木塚）

⑦委員さんからのご意見

- ・防災学習をさらに多く人が参加できるようにしていきたい。前年度は11月に第10地区コミュニティにいる防災士が実施。避難所運営ゲーム HUG を実施。部活動単位で参加し、簡易トイレの体験をした。（須長）
- ・先生方の働き方改革へつながるような取組をしていければよい。（渡辺）
- ・自分の考えをアウトプットする時間があるとよい。（綾部）
- ・アウトプットとインプットのバランスを考えた授業が大切であると思う。（岩田）
- ・学校評価を生徒たちへフィードバックしてもよいのではないか。生徒たちの存在を認めてあげることが大切。私たち委員は守秘義務があることをおさえていくべきである。地域へ学校の困り感を発信していくことも大切である。（竹村）
- ・人権教育を大切に考えてほしい。一人一人へ声かけを大切にしてほしい。（白井）
- ・学校は関係機関と積極的に連携していくべきである。（古池）

(4) 今後について

- ・息吹祭の見学
- ・次回の11月に集まる前に、学校としての「テーマ」を共有して、動き出していくべきである。